

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

七城中学校3年 渡邊永翔さん



私はプラチナ未来人財育成塾に参加して、たくさんのことを学びました。その中でも特に印象に残った講義が三つあります。

一つ目は、菊池康紀先生の講義です。先生は「多様な解を考え続ける力」についての講義をされました。その中に「レジ袋とマイバックはどちらがエコか」という話がありました。私はエコバックと答えたのですが、先生は分からないと答えられました。その理由は、マイバックはレジ袋600枚分のプラスチックを使用して製造しているので、レジ袋やマイバックがどう使われたかや、使われた期間が分からないと答えられないということでした。

私はレジ袋は1回使ったら捨てるしなく、マイバックはその分捨てるしなく、いいからエコだと思っていました。しかし、そんな単純ではないことが分かりました。菊池市ではごみ袋が指定されているので難しいですが、指定されていない地域ではレジ袋をごみ袋の代わりにしてゴミ出しをすると、ごみ袋を使わなくていいのでその分エコになりますし、レジ袋をエコバックのように買う物をすれば、さらにエコということになります。このことから、物事の良し悪しやどちらがよいかという

判断は簡単にできるものではなく、さまざまな角度から検討する必要があるのだと分かりました。

二つ目も菊池先生の講義です。「優れたリーダーとは」という設問のもと、ある動画を見ました。その動画の内容は広場で一人の男性が上半身裸で踊りだすというものでした。最初は一人で踊っていましたが、徐々に人が増えてきて、最終的に百何十人も人が踊りだしたという動画でした。この時、最初に踊りだした男性は、間違いなくリーダーと言えます。

一人で踊っている時は、ただの個人的な人でしたが、二人になるとタッグ、三人以上になると集団になり、男性はその集団のリーダーとなりました。そこで私は「リーダーシップとはどういうものか」について考えさせられました。最初に行動を起こすことはもちろん大切ですが、同時にそれに共感して一緒に行動する人間の存在も大切さだということ、そして周りの人に共感の気持ちを起こさせる力も大切なリーダーシップなのだと感じました。

三つ目は、早坂信哉先生の講義です。先生は、「血圧や体温の変化とお風呂との関係」の研究をされています。お風呂に入ったときと、そうでないとき

の血圧や、体温の変化と事故との関連などです。その結果は広く報道され、入浴するときの注意喚起に役立つというのでした。

周りの人は難しい専門的なことを研究していたのですが、先生は地域医療現場での問題に着目し、あまりにも日常的すぎて誰も研究をしていなかった「お風呂」の研究をされたのです。私はこの講義で、他の人と違う視点からものを見ることも必要だと感じました。私も、広い視野をもって物事を見て、問題点を見つける力をもったリーダーになりたいと思いました。

このように、普段なかなか聞くことのできない、学ぶことのできない、たいへん貴重な機会に恵まれ研修できたことを、とても幸せに思います。そして、学んだことを周りの人たちと共有して自分の生き方やこれからの社会に役立てていきたいと思っています。



プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

七城中学校3年 長塩梨子さん



私は8月5日から8日までの4日間、プラチナ未来人財育成塾に参加しました。静岡や大阪、種子島から、たくさんの方が参加しており、初日はとても驚いたことを思い出します。

プラチナ未来人財育成塾のテーマである「2050年に未来の社会はどうあるべきか」「未来の自分はどのようにいたいのか」を考えながら、3日間に渡って、5つの講義を聴き、多くのことを学び、経験することができました。

初日の菊池康紀先生の講義では「多様な解を考え続ける力とは」について考えました。この講義で心に残っていることは2つあります。1つ目は、エコバッグが必ずしもエコではないということ。エコだからエコバックという名前だと思っていました。しかし、話を聞く中で、エコバックを一つ作るエネルギーの量は、レジ袋600枚分のエネルギー量と同じだと分かりました。エコバックがエコかどうかは、使う人次第だと聞き、新たな発見となりました。エコを考えることの大切さを改めて感じました。まずは、これまでの自分のエコを振り返ってみようと思いました。

2つ目は、菊池先生の「やりたいことやるべきことは、生活していて勝手に増えていくが、できることを伸ばせる

のは、勉強と訓練だけ」という言葉です。やりたいことは、はっきりと決まっているのにできないことは悲しい将来になるので、今のうちから何か一つでもできることを増やしたいです。

2日目の小宮山宏先生の講義では、「2050年の世界から自分を考えてみよう」について考えました。先生は、ご自分でもエコを考え、二重窓や太陽光パネルを設置した家を建てられたそうです。消費エネルギーを減らすことの大切さを聞き、私も先生の家のような家を建ててみたいと思いました。

次に、早坂信哉先生の講義では、自分の体験したことをもとに話されました。毎日、湯船につかると要介護になる人が29%も減るといふ調査や、体をマネジメントしてくれるお風呂ロボットの開発など、さまざまなことを行われています。誰も着目していないところに目がいくところに面白さを感じました。私たちも、当たり前すぎて、見えていないところに着目する力も大切だと改めて感じました。

3日目は初めに、所千晴先生の資源循環とダイバーシティについてのお話でした。経済・社会・環境の調和を目指すSDGsという言葉が心に残りました。どれか一つだけを良くしても意

味が無いということ。講義後、グループから一人ずつ質問をし、先生は「もっともっとこの疑問を自分たちで追及してほしい」とおっしゃいました。

次の江間有沙先生の講義ではAIと私たちの社会について学びました。AIが普及すると仕事が減るといわれていますが、全て任せられるのではなく、今の日本ではAIに責任を取らせることができないため、最終確認は人がしなければならぬと分かりました。

このように3日間でたくさんのごことを学びました。知識だけでなく、共に学んだ仲間と大切な時間を過ごせたことは、私にとって、貴重な時間でした。台風の影響で早く帰らなければいけなくなった時、とても悲しい気持ちでしたが、グループの人や大学生が「ありがとう、楽しかった」と言ってくれて、とても嬉しかったです。とても充実した時間を過ごせました。また、人と人とのつながりやコミュニケーションは美しいと感じました。

今回、学んだことを忘れず、人に伝え、みんな自分たちの社会について考え続けることのできる社会が一つの理想ではなく、継続して実現できるようにしたいです。このような素晴らしい機会をいただいたことに感謝しています。